

科目名	コミュニティビジネス論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Community Business	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	にしまき じょうじ	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	西巻 丈児	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	地域（コミュニティ）の住民が主体となる「コミュニティビジネス」は、地域住民が地域の抱える課題を解決するための方法として注目されているビジネスの形態である。地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域において新たに創業したり、雇用を創出するのはもちろんのこと、働きがい、生きがいを生み出し、コミュニティを活性化するのに寄与するものである。 近年期待されている「ビジネス」の手法であるコミュニティビジネスの意義を捉え、実際のさまざまな事例を調査・分析することにより、その現代的な意味を考えられるようになる。				
到達目標	・ コミュニティにおける課題や、課題解決のためのビジネスの意味と意義を説明できる。 ・ 地域経済に好影響を及ぼすコミュニティビジネスが、実際に地域に与えた効果や、類似する地域課題を抱える他の地域へのヒントとなるポイントを説明できる。				
授業概要	「地域住民」が主体となるコミュニティビジネスの概念を明らかにし、日本や諸外国の事例研究を通して、要請されてくる地域経済・社会の背景、ならびにその展開過程を学ぶ。そして、日本におけるさまざまな事例を調査・分析することによって、その可能性を探っていく。				
授業計画					
第1回	イントロダクション：「コミュニティビジネス」とは何か				
第2回	コミュニティビジネスの基本事項				
第3回	コミュニティビジネスと世界の事例				
第4回	コミュニティビジネスと日本の事例				
第5回	コミュニティビジネスに期待される機能・役割				
第6回	「地域産業活性化型」コミュニティビジネスの調査・分析				
第7回	「社会参加促進型」コミュニティビジネスの調査・分析				
第8回	「地域の魅力向上型」コミュニティビジネスの調査・分析				
第9回	「健康・高齢者生活支援サービス分野」のコミュニティビジネスの調査・分析				
第10回	「地域資源活用」コミュニティビジネスの調査・分析				
第11回	「まちづくり推進」コミュニティビジネスの調査・分析				
第12回	「子育て支援」コミュニティビジネスの調査・分析				
第13回	調査・分析から見えてくるもの(1)				
第14回	調査・分析から見えてくるもの(2)				
第15回	本授業の総括				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	予習：(1.5 時間程度) コミュニティビジネスに関連する機関・文献・ウェブサイトを授業内で紹介するので、最新のそれらの事例を調査し、自分なりに分析しておくこと。 復習：(1.5 時間程度) ① 授業を振り返って内容を整理する。 ② 理解できていない事柄を、次の授業で的確に質問できるよう用意する。				

履修条件 受講のルール	予習・復習を必ずして、積極的に授業に参加すること。
テキスト	特に指定はしない。ポータルサイトにて毎回事前に配布するプリントが、教科書の代わりとなる。 また、パワーポイント、映像資料や文字資料も積極的に使用する。
参考文献・資料	『地域コミュニティ機能の維持/創出に係る事例集』関東経済産業局、2021 『地方創生 事例集（小さな拠点・地域運営組織版）平成29年3月』内閣府地方創生推進事務局 『コミュニティビジネス事例集2016』経済産業省 関東経済産業局 『コミュニティビジネス事例集2015』経済産業省 関東経済産業局 『コミュニティビジネス事例集2014』経済産業省 関東経済産業局 その他は、授業内で適宜指示する。
成績評価の方法	毎回提出してもらうリアクションペーパーによる理解度（45%）、定期試験（55%）を総合的に評価する。 また、欠席、遅刻、私語、居眠り、無断退出等については減点の対象とする。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 10:40～12:10、13:00～14:30 事前連絡があれば、上記時間の他にも可能性あり。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	書籍やニュース、ウェブ等においても「コミュニティビジネス」の諸事例がさまざま紹介されているので、積極的に具体例を調べること。 いつか自分も、コミュニティビジネスを立ち上げてみようという気概を持って、授業に臨んでいただきたい。